

KOGA IDOL

今月の古河っ子

いいこが育つ古河



金谷咲羽(右)くん
葉羽(中央)くん
 (平成27年10月生まれ 平成29年12月生まれ・西牛谷) 元気に遊ぶ葉羽くん。これからたくさん元気に遊んで大きくなってね!
 (父:優希、母:福世)

中山晴陽くん
 (平成29年3月生まれ・西牛谷) 元気と笑顔をくれる晴陽くん♡たくさん遊ぼうね。
 (父:裕太、母:瑞穂)

坂本澪音くん
 (平成30年5月生まれ・上辺見) いつもニコニコやんちゃ坊主
 (父:尚己、母:愛美)

桜井奏叶くん
 (平成28年11月生まれ・水海) 我が家のアイドル♡にいに、ねえねとたくさん遊んでね!
 (父:昌彦、母:美奈)

お子さんの写真を募集中! <対象> 0~3歳の市内在住のお子さん <応募方法> メール・電話で受付中。メールのタイトルを「今月の古河っ子応募」とし、本文に「お子さんの氏名(ふりがな)・生年月日・父母の氏名・住所・電話番号」を明記し、city.pr@city.ibaraki-koga.lg.jp(☎シティブロモーション課)へ申し込みください♪



わたしの夢

「本で広がる世界」を届ける司書になりたい

佐藤こころさん 古河第五小学校6年生

私は本を読むことが大好きです。学校図書館もよく利用します。図書先生は「この本はこころさんにおすすめだよ。」と本を通して優しく接してくれました。この出来事がきっかけで、私は本を通して、人と関わる仕事ってすてきだなと思いました。

本を読んでいると新しい発見がたくさんあります。自分の世界が広がる楽しさをみんなにも届けたいです。

私は将来、司書になってたくさんの人の新しい発見のお手伝いをしようと思っています。



キラリ☆光輝く人たち



読書を子どもの身近なものに 朗読サークルすずめの皆さん

三和図書館(燦SUN館)や三和地区の小学校で読み聞かせ活動を行っています。長年の子どもへの読み聞かせ活動が評価され4月に文部科学大臣賞を受賞した朗読サークルすずめ代表の畠山さんに話を伺いました。

小さな一歩から初める
 活動を始めて今年で21年目を迎える朗読サークルすずめ。最初に始めた活動は小学校での読み聞かせでした。ご自身のお子さんが通っていた小学校で行われていた朝の読書活動に読み聞かせを取り入れてもらい、子どもたちに読書の楽しさが伝わるよう、毎週行っていました。今ではその活動への賛同者が増え、8人で三和地区の小学校(全6校)のほかに三和図書館で定期的に読み聞かせをしています。

読書を楽しいものに
 長年にわたる活動は「読書は娯楽。本を読むということが子どもにとって楽しいものであってほしい」という強い思いが原動力になっています。平成から令和にかけて21年もの間、たくさん子どもたちと接してきたサークルの皆さんが感じることは、時代は変わっても子どもへの興味や好奇心は変わらないということだと話します。

子ども立場に立つ
 サークルの皆さんが心掛けているのは、読み手が自分の都合を押し付けるのではなく、聞き手である子どものペースや性格に合わせてあげることが大切だということ。畠山さんが絵本を読み聞かせしている最中に集中力が切れてしまったり、注意したりするのはなく、その子が聞きたい状態になるのをゆっくり待つてあげることが必要だと言います。

文部科学大臣表彰の先に
 長年の読み聞かせ活動が評価され、平成31年4月に文部科学大臣から表彰されました。ここまで活動を続けることができ、このような表彰をしていただけたのもひとえに価値感を理解し合える仲間や、読み聞かせを通して私たちが成長させてくれる子どもたちがいたからと畠山さんは振り返ります。これからも子どもたちの記憶に残るように、読書の楽しさを伝えていきたいと笑顔で話します。